



2月の 粕江農産物 ナバナ

食卓に春を感じさせるナバナ(菜花)は1月から3月頃が旬。食用、観賞用とも品種が豊富で、市内でも多くの農家が栽培している。

食用ナバナは、晩秋に種子をまき、2~3カ月で収穫時期を迎える。ツボミや花茎、葉をおひたしや炒め物、パスタなどにして食べる。多少苦みがあるのが特徴だが、苦くない種類もある。乾燥するとすぐ枯れるので、使い切れない場合はゆでてから保存すると良い。



小町芳嵩さん 32歳(中和泉)

埼玉県川口市で生まれ育ったが、母の実家がある粕江市の高齢者福祉施設に勤務、7年前から祖母のキミ子さん(82)とともに野菜を栽培、約6年前に青壮年部に入部した。現在は和泉小学校西側にある畑で、大根、小松菜、トマト、キュウリなど年間約40種の野菜を栽培している。芳嵩さんは農業を始めて日が浅いため、高齢の祖母に代わって力仕事を受け持つとともに、祖母から農作業のノウハウを学んでおり、「初めて経験することが多く大変ですが、やりがいがあるとおもしろいです」と話している。収穫した野菜は自宅脇の直売所で販売している。



小川昌士さん 48歳(猪方)

代々続く農家に生まれ、子どもの頃から野菜作りを手伝った。大学卒業後、青壮年部に入部する一方、会社勤めを2年間経験、24歳で就農した。最初は両親の手伝いだったが、少しずつ担当を増やし、現在はひとりでキングジョソウ、アスター、ユリ、キクなど数十種類の切り花と50種以上の季節の野菜、キュウリ、トマトなど主に夏野菜の苗を栽培、JAマイズへ出荷するほか、自宅近くの直売所で販売する。先祖から受け継いだ柔らかい土を守るとともに、野菜本来の持ち味を出すために化学肥料を使わず、馬フンを使った堆肥作りを行っている。

JAマイズ粕江地区青壮年部部員の横顔

東京混声合唱団迎えコーラスの楽しさを体感するオープンハウス

エコルマホールを身近に感じ、いろいろなジャンルを気軽に楽しんでもらうことを目的に「ふらっとエコルマ、オープンハウス」が17日午前10時~午後5時に催される。



東京混声合唱団

9回目の今回は「VIVA、コーラス! ~合唱は楽しい♪」と題してコーラス(合唱)を取り上げる。エコルマでのワークショップや第九公演に出演した東京混声合唱団を迎え、世代別コ

ンサート、ワークショップ、レクチャーなど、さまざまなコーラスの楽しみ方を体験できるように企画。子どもから大人まで世代に関係なくだれもが経験する、皆で集い一緒に歌う合唱の楽しさを知ってもらうという。

4階ホールではシニア世代のためのコンサート、レクチャー(プロが教える発声のノウハウ)、ワークショップ(事前申込制)、粕江ゆかりの愛好団体

つなげよう 音楽の架け橋

によるコンサート(出演:粕江市音楽連盟、混声合唱団コーラス・ガーデン、女声合唱団コール・レーネ、混声合唱団A.D.A)、東京混声合唱団コンサート~日本の歌、世界の歌~などがある。また、6階展示・多目的室ではキッズコンサート(事前申込制)、レクチャー(プロが教える発声のノウハウ)が行われる。

入館料は500円(中学生以下無料・要学生証など)。問い合わせ☎3430-4106(一財)粕江市文化振興事業団。

初春まつりに15,000人

「こまえ初春まつり」が1月13日回に多摩川緑地公園グランドで催され、訪れた約15,000人が消防団出初式、どんど焼、多摩川ロードレース大会など新年を飾る行事を楽しんだ。

はしごの上で妙技

消防団出初式は、最初に北陸第二区五番組と関東連合東都連若鷺会がまといの振り込みに加え、初めてはしご乗りを披露した。若鷺会のメンバーが交代で高さ約10mもあるはしごに上り、「謹賀新年」と記した垂れ幕を披露したほか、次々と妙技を披露、観客はハラハラしながら笑顔で見守っていた。



はしご乗り

続いて消防団の六つの分団と粕江消防少年団など約150人が消防車とともに整然と行進。消防ポンプ自動車操法などの模範演技などが披露された。最後にカラフルな一斉

放水が披露され、6色の放水が弧を描くと、市民から大きな歓声が上がっていた。

大きな炎に喚声

粕江市ボーイスカウト連絡協議会(服部英広会長)のどんど焼は、子どもたちに小正月行事の楽しさを伝えようと催されているもの。

ボーイスカウト関係者がカヤや竹などで作った高さ約10mの円すい形の小屋に点火すると、数十秒で大きな炎が上がり、遠巻きにした人々は喚声を上げていた。



どんど焼

駒大陸上競技部も力走

ロードレース大会(粕江市、粕江市教育委員会主催)には514人が参加、堤防上に設けられた1km、2km、3km、5km、10kmの5コース



駒大の選手が初参加

で年齢や性別に応じて14クラスに分かれ健脚を競った。

レースには、ことしの箱根駅伝で4位だった駒澤大学陸上競技部の藤田敦史ヘッドコーチと、新矢連士さん、町田将光さん、蓮沼直希さん

の1年生の選手3人がゲストとして初めて参加。男子マラソンの元日本記録保持者でもある藤田コーチは小学生女子(2

km)の部、選手3人は一般男子(10km)の部で市民ランナーにまじって汗を流した。藤田コーチは「世田谷区に寮があり、多摩川堤防でよく練習しています。多くの人と一緒に走ることは選手たちに刺激になります」と話し、「私自身もスタート前はセーブしたけど、すごく速い子がいたので途中から真剣になりました。子ども時代を思い出して楽しかった」と喜んでた。

一般男子の部(10km・40歳未満)で優勝した渡辺将悟さんは「駒大の3人が良いペースメーカーになってくれたので、最後までペースダウンすることなく気持ちよく走り切れました」と笑顔で話していた。

パラ体験のブースに人気

会場には消防、警察、自衛隊、小田急電鉄、オリンピック・パラリンピック、粕江市観光協会などのブースが設けられ、親子連れの人気が集めていた。

東京都のパラリンピック体験プログラム「NÓ LIMITS CHALLENGE」のブースでは、馬術のバーチャル体験、車いすバスケットボールのフリースロー体験が行われ、順番を待つ長い列ができていた。

馬術のバーチャル体験は、ディスプレイに映し出されたコースをアイマスクをしたたづなを握り、ゴールをめざすゲーム。参加した親子は真剣な表情でチャレンジしていた。馬術で東京2020パラリンピック出場を目指している井上力さんによる競技についての説明や馬具なども展示され、関心を集めていた。



親子で馬術のバーチャル体験

Advertisement for Ecorma Hall concert featuring Yuriko Eri and her friends. Includes dates 2/24 and 3/16, and contact information.

Advertisement for JA Mays farm rental. Details include location in Itoya, rental fees, and contact information.

Advertisement for Tokentoken renovation services. Features 'Healthy 100-year housing' and contact details for Tokentoken Co., Ltd.